

香港株式市場フラッシュ

香港ハンセン指数構成銘柄は高配当利回りの宝庫

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp



2021年7月21日号(7月20日作成)

”香港ハンセン指数構成銘柄は高配当利回りの宝庫“

香港市場の代表的な株価指数である香港ハンセン指数は、流動性の高い上位銘柄で構成される浮動株時価総額加重平均指数であり、今年6/7より構成銘柄が58銘柄となった。同じ時価総額加重平均といっても、米国S&P500やナスダック総合指数とは異なり、単一銘柄の指数に対する比重(ウェイト)は最大8%に制限される。

投資戦略上、ハンセン指数の最大の特徴は、高配当利回り銘柄の割合が他の主要株価指数と比べて圧倒的に大きいということである。7/19終値では、全58銘柄中で13銘柄が市場予想配当利回り6%を超えている。しかも、業種が石油・エネルギー関連から、銀行、不動産、無線通信、生命保険、パーソナルケア用品と幅が広い。

【表1】香港ハンセン指数構成銘柄(全58銘柄)における市場予想配当利回り6%以上の配当利回り順ランキング(7/19終値)

順位	会社名	市場予想配当利回り (%)	実績PBR (倍)	市場予想PER (倍)	時価総額 (10億 HKD)	年初来トータルリターン (%)	Bloomberg業種分類
1	中国石油化工(シノベック)	11.03	0.47	5.54	559	9.5	石油総合
2	中国海洋石油(CNOOC)	9.19	0.66	4.59	356	14.4	炭鉱・生産
3	中国銀行(バンク・オブ・チャイナ)	9.12	0.37	3.49	996	11.9	銀行
4	交通銀行(バンク・オブ・コミュニケーション)	8.77	0.37	3.59	370	21.4	銀行
5	中国石油天然気(ペトロチャイナ)	8.30	0.39	6.24	989	44.3	石油総合
6	中国海外発展	7.75	0.52	3.93	198	11.9	総合型不動産
7	碧桂園控股(カントリー・ガーデンHD)	7.71	0.84	3.92	179	-21.5	住宅不動産
8	中国工商銀行	7.67	0.47	4.04	1,913	-5.5	銀行
9	中国建設銀行(チャイナ・コンストラクション・バンク)	7.63	0.48	3.96	1,398	0.3	銀行
10	中国移動(チャイナモバイル)	7.19	0.72	7.39	992	13.5	無線通信
11	中国中信(シテック)	6.70	0.35	3.75	238	56.1	コングロマリット
12	中国人寿保険(チャイナライフ・インシュアランス)	6.65	0.68	5.42	880	-15.4	生命保険
13	恒安国際集団(ハンアン・インターナショナル・グループ)	6.16	2.43	10.48	55	-11.4	パーソナルケア用品

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

”チャイナモバイルは米国人買い禁止も、寡占市場で業績安定“

これに対し、米国の代表的株価指数であるS&P500では、7/19終値で全500銘柄中、市場予想配当利回り6%超えは8銘柄、業種も通信、たばこ、石油・ガス関連にとどまる。また、日本の代表的株価指数の日経平均株価では、7/19終値で全225銘柄中、会社予想配当利回り6%超えは1銘柄に過ぎない。

特にチャイナモバイルのような中国国有通信大手は、米政権によって米国人の株式投資禁止対象に含まれていることから海外投資家からの買いを期待できない一方で、事業領域は寡占市場であることから中長期的に安定配当が期待される。

【表2】米国S&P500株価指数構成銘柄における市場予想配当利回り6%以上の配当利回り順ランキング(7/19終値)

順位	会社名	市場予想配当利回り (%)	実績PBR (倍)	市場予想PER (倍)	時価総額 (10億 USD)	年初来トータルリターン (%)	Bloomberg業種分類
1	ルーメン・テクノロジーズ(LUMN)	7.95	1.24	7.27	14	34.33	有線通信
2	アルトリア・グループ(MO)	7.64	29.74	10.84	87	18.18	たばこ
3	AT&T(T)	7.52	1.20	12.13	202	1.91	無線通信
4	ONEOK(OKE)	7.48	3.67	19.48	23	36.34	石油・ガスパイプライン
5	ウリアムズ・カンパニー(WMB)	6.72	2.57	20.81	30	27.26	石油・ガスパイプライン
6	エクソンモービル(XOM)	6.33	1.49	211.17	242	38.57	石油総合
7	パレロ・エナジー(VLO)	6.32	1.42	131.74	26	12.45	石油精製・販売
8	キンダー・モルガン(KMI)	6.12	1.21	13.94	39	30.02	石油・ガスパイプライン

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【表3】日経平均株価構成銘柄(全225銘柄)における会社予想配当利回り6%以上の配当利回り順ランキング(7/19終値)

順位	会社名	市場予想配当利回り (%)	実績PBR (倍)	市場予想PER (倍)	時価総額 (10億円)	年初来トータルリターン (%)	Bloomberg業種分類
1	日本たばこ産業(2914)	6.01	1.46	14.06	4,317	5.28	たばこ

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全81銘柄)における終値の今年3月末騰落率

前回基準日: 20210706 今回基準日: 20210720

順位	3月末騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	安踏体育用品 [アンタ・スポーツ・プロダクツ]	45.4	2
2	薬明生物技術[ウーシー・バイオリジクス・ケイマン]	41.8	6
3	舜宇光学科技(集団)[サニー・オプティカル・テクノロジー]	26.5	5
4	瑞声科技[AACTテクノロジーズ・ホールディングス]	25.8	1
5	比亞迪 [BYD]	25.0	4
6	信義光能[シンイー・ソーラー]	21.8	8
7	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	18.8	3
8	吉利汽車控股[ジーリー・オートモービル・HDS]	17.0	7
9	長江実業集団[CKアセット・ホールディングス]	16.1	10
10	石薬集団 (CPSC Pharmaceutical Group)	14.5	21

順位	3月末騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
81	Koolearn Technology Holding (新東方在線)	-59.7	81
80	Kuaishou Technology (快手)	-48.6	80
79	Weimob Inc (微盟集団)	-37.1	64
78	汽車之家 (Autohome)	-36.9	79
77	阿里健康信息技术[アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	-35.1	78
76	聯想集団 [レノボ・グループ]	-28.5	77
75	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	-24.7	74
74	金山軟件 [キングソフト]	-21.8	73
73	中国平安保険(集団) [ピアン・インシュアランス]	-21.1	75
72	銀河娛樂 [ギャラクシー・エンターテインメント]	-20.3	67

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2021年7月の中国の経済指標】

- 7月1日(木)
 - ・6月財新製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回52.0、結果51.3
 - 7月5日(月)
 - ・6月財新サービス部門購買担当者景気指数(PMI): 前回55.1、結果50.3
 - 7月7日(水)
 - ・6月外貨準備高: 前回3,221兆USD、結果3,214兆USD
 - 7月9日(金)
 - ・6月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+1.3%、結果+1.1%
 - ・6月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回+9.0%、結果+8.8%
 - ・6月資金調達総額: 前回1.92兆元、結果3.67兆元
 - ・6月新規人民元建て融資: 前回1.50兆元、結果2.14兆元
 - ・6月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+8.3%、結果+8.6%
 - 7月13日(火)
 - ・6月貿易収支: 前回+455.3億USD、結果+515.3億USD
 - 7月15日(木)
 - ・4-6月期GDP<前年同月比>: 前回+18.3%、結果+7.9%
 - ・6月小売売上高<前年同月比>: 前回+12.4%、結果+12.1%
 - ・6月鉄工業生産<前年同月比>: 前回+8.8%、結果+8.3%
 - ・1-6月固定資産投資<前年同期比>: 前回+15.4%、結果+12.6%
 - ・1-6月不動産投資<前年同期比>: 前回+18.3%、結果+15.0%
 - 7月27日(火)
 - ・6月工業企業利益<前年同月比>: 前回+36.4%
 - 7月31日(土)
 - ・7月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.9
 - ・7月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回53.5
- (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。